

米奥小だより

令和8年9月25日（金）

No. 19

米奥小学校 校長 北添 忠

〇明日は合同運動会！

令和8年度米奥小学校米奥地区民合同大運動会が明日開催されます。9月の前半は雨ばかりで外での練習が十分にできない日が続きましたが、その後は晴れの日もあり、マスト登りなどの練習も

繰り返し行うことができました。心配なのは天気です。今夜には高知県沖に停滞前線（秋雨前線）が発生する予報で、明日は朝から曇り時々雨の可能性が



あります。ただ、停滞前線については予報がむずかしく、9月初めの停滞前線による天気も、予報とは違う面が見られました。明日、天気予報が良い方向にはずれて、晴れとは言わず曇り空の元、グラウンドで運動会ができることを期待しています。

子どもたちも、その気持ちは同じようで、先週までは2.3年教室にだけあったたくさんのてるてる坊主が、今朝には5.6年教室にも広がり、大きなてるてる坊主まで登場しました。下を歩いていた私に向けて「校長せんせ〜い」と声が聞こえたので「大きなてるてる坊主！明日は晴れるね！」と返したことでした。多くの児童が登れるようになったマスト登り、体育館ではできないので、外で開催し、児童の頑張りを見てもらいたいと思っていますところです。



○米奥小 150 周年記念の写真

明治9年（1876年）に大乘寺を教場として創設された米ノ川小学校が米奥小学校の始まりです。名称も校舎も変遷を繰り返し、今に至っています。そして、今年度は米奥小学校創立150周年です。



昨年度末から「米奥小学校創立150周年記念誌作成委員会」が発足し、今は「米奥小学校創立150周年記念プロジェクト実行委員会」となり、会合や作業部会を行っています。すでに、地区民の方々からは寄付金をいただき、準備が進んでいるところです。

150周年記念行事は、令和9年2月13日（土）に開催する方向です。児童の発表だけでなく、地域の方々が関わる内容もあります。クラウドファンディングを行って、地域外からの寄付も募る予定です。9月24日（木）には、クラウドファンディングの返礼品として候補にあがっているコメの袋に貼るイメージ写真を撮りました。下一斗俵の地区長さんの協力をいただき、一斗俵沈下橋をバックに写真を撮りました。創立150周年の年に米奥小学校に在籍している児童15名が、四万十川、沈下橋、黄金色に輝く稲穂らの中心にいる写真です。



150年の歴史を物語る写真はたくさんあります。その中に、約30年前の前校舎と現校舎が映っている写真がありました。まだ源流大橋ができる前の写真です。なつかしく感じる方もいると思いますので、掲載させていただきました。

これからも、150周年記念プロジェクトは進んでいきます。ご協力、よろしくお願いします。